

会 議 要 旨 書

会議名	第 21 期三鷹市立図書館協議会 第 11 回定例会
日 時	令和 4 年 10 月 20 日 (木) 午後 2 時
場 所	三鷹市立三鷹図書館 (本館) 第 1 集会室
出席委員 (10 人)	山下政一 小谷奈保子 福島健明 倉田清子 間部豊 大塚敦子 松本直樹 土屋菜々 横山和男 梅林愛子 (敬称略)
欠席委員 (2 人)	松田秀穂 並木茂男
行政職員 (5 人)	三鷹市立三鷹図書館館長 大地好行 図書サービス係長 池上真理子 管理係長 榛澤孝 管理係主任 山崎肇 管理係主事 岩崎祐美
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴人数	0 人
<p>【議事】</p> <p>1 前回の協議内容の確認について 修正なし。</p> <p>2 行政報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地館長 配付資料「図書館協議会行政実績・予定報告 (9 月 22 日～11 月 16 日)」と「三鷹市新都市再生ビジョン (仮称)【案】の概要」(「以下「概要」(案) という) に沿って説明 ・A 委員 概要の中に「三鷹駅前地区まちづくり基本構想 (案)」(以下「構想 (案)」 という) が 出ており、図書館が含まれているか。 ・大地館長 図書館に関する内容は含まれていないと認識している。 ・A 委員 「概要 (案)」と「構想 (案)」の二つのパブリックコメントが出ているのか。 ・大地館長 同じタイミングで出ており、図書館に関連する事項があれば後ほどお知らせする。 ・B 委員 図書館についてはビジョンの前期後期のどちらに入っているか。 ・大地館長 大規模改修という意味では図書館は前期に含まれない。本館が本庁舎と複合施設にな る場合は必要な広さを確保するのは難しいと考えている。その場合には保存庫を別の場所に設置 出来ないか提案していく。 ・大地館長 議会で電子書籍と図書館グッズについて報告した。 ・C 委員 10 月 6 日のおはなし会は 0 人の理由は。 ・大地館長 当日の天候不良に伴いキャンセルが出たためである。 ・C 委員 10 月 14 日の電子書籍講習会の出席者はどのような方か。 ・大地館長 出席者は全員年配の方だった。 ・C 委員 電子書籍は読み上げには対応しているか。 ・大地館長 コンテンツにより対応しているものとそうでないものがある。 	

- ・A委員 電子書籍についての問い合わせには職員が対応してくれるか。
- ・大地館長 問い合わせがあれば職員が説明を行う。
- ・A委員 館内に、電子書籍についての問い合わせに対して職員が説明するという掲示はあるか。
- ・大地館長 特に掲示はしていない。
- ・A委員 今、お勧めのサービスなので掲示等の充実を検討して欲しい。
- ・D委員 電子書籍は利用者にとって分かりにくいので検討の余地はある。
- ・大地館長 電子書籍の拡充を進めていき、分かりにくい部分については検討していきたい。
- ・D委員 「概要（案）」は国の方針を受けてのものと思うが、図書館はより具体的な個別施設計画を立てているか。
- ・大地館長 火災報知設備をいつ頃に改修するか等の具体的な計画は含まれている。
- ・D委員 令和 17 年度（2035 年度）までに建替がないすると図書館建設時から 55 年経過してしまう。50 年以上経過した図書館は全体の 5%ほどしかない。大規模改修をしないと施設がみすぼらしいものになり、利用者離れにつながるのではないか。図書館で前期に入っている施設はないか。
- ・大地館長 該当する施設はない。現在パブリックコメントを行っており市民の意見を集約しているところである。
- ・D委員 設備の改修は 15 年程度で行われるが、現代風の図書館にするには大規模改修をしないと魅力は低下する。
- ・大地館長 建物が老朽化しているので今後予算化を図り改修を進めていきたい。

3 今期の提言にかかる検討について

- ・D委員 前回配布資料「三鷹市立図書館の蔵書分析」と「第 21 期三鷹市立図書館協議会提言に向けて」に沿って説明
- ・E委員 図書のカバー率を上げれば他市の図書館と比べ魅力的になり、利用者が増えるのではないか。館長は貸本屋にはなりたくないと言っているが、カバー率を上げるのは別の問題ではないか。
- ・D委員 図書のカバー率は出版物に対するものであり、複本を減らすのがカバー率を上げる一番良い方法であるが、複本を減らすと予約者への貸出が遅くなるという副作用がある。図書のカバー率を上げることと複本により予約者への貸出が早くなることはトレードオフの関係にある。
- ・C委員 主題別で各館で本を集めている制度があるのか、各館で希望する図書を買っているのを知りたい。
- ・大地館長 三鷹市立図書館として必要な図書を各館で購入している。
- ・C委員 資料の収集方針を変更して主題別で各館集めることはあるか。
- ・大地館長 かつて駅前図書館でビジネス支援コーナーを設けたこともあった。必要であれば資料の収集方針を見直すことも考える。
- ・大地館長 10 年で資料が借りられなくなるのであれば、古い図書については除籍や協力貸出といった方法でバランスを取っていくことも考えられる。
- ・D委員 10 年で除籍するのは早すぎる。

- ・D委員 国立国会図書館では1990年代後半までの書籍を電子化して登録利用者は自宅で見られる状況である。中には現物の図書が良いという人もいる。
- ・B委員 建替がないとすると魅力的な図書館にするためには頭を切り替える必要がある。
- ・B委員 貸出数を増やすために多くの人に来てもらう必要がある。そのためには心地の良い図書館にすることが大事だと思う。近い将来建替が出来なければハード面よりイベントや学習の機会、手に取りたくなるような配置の書架等ソフト面を重視して魅力的な図書館にしていく必要がある。
- ・D委員 海外ではコレクションからコネクションと言われることが多く、人と人を結びつけることを重視している。
- ・F委員 ビジネス書や雑誌は新しいものが、文学は古いものが好まれる傾向があると思う。図書の除籍は発行年数だけではなく、分野によって分けるのが良いのではないかと。三鷹にゆかりの作家では他市の図書館よりも充実した蔵書にするという方法もあると思う。
- ・D委員 十分あり得る話である。また、出版年と貸出の関連について調査したところ、児童書については新旧関係なく貸出される傾向にある。
- ・D委員 自治体によっては担当分野を決めて図書館に特色を出すところもあれば、三鷹ゆかりの作家に特色を出すといったやり方もある。
- ・D委員 利用者だけではなく、未利用者をどう組み入れていくかということと図書館のあるべき姿をどう具体化するかが大切である。
- ・G委員 本について考えることは図書館の中心であり良い選択であるが、利用者が減ると市の中で図書館の存在が小さくなり建替の話は遠ざかってしまう。利用者を増やすには蔵書の充実とともにコネクションを盛り込み講演会等を実施し、本に興味のない人を図書館に呼び込むのが良い。
- ・A委員 生涯学習機能を充実していかないと三鷹図書館が小さいものになってしまう。
- ・H委員 図書館に来たいと思っている方がどういう図書館なら来たいかアンケート調査し、集計した結果の中にヒントがあると思う。
- ・D委員 館内アンケートは図書館利用者にはアプローチしやすいが、図書館未利用者にはニーズを把握するためには別途検討が必要である。
- ・大地館長 現在、まちづくりに関するアンケートの中に図書館のものを入れてあり、回答が戻ってくれば参考になる。集計結果が出たら報告する。
- ・D委員 既存の図書館のイメージがあると未利用者のアンケート結果は予想がつく。逆に未利用者にフォーカスしてグループインタビューで議論を発展していく方法もある。
- ・G委員 建替等の大きな変更が見込めればいろいろな意見が出てくるが、現実的に出来ることが限られてくると出てくる意見が狭まる。
- ・I委員 魅力的な図書が多ければ散歩のついでに立ち寄りたくなる図書館になると思う。
- ・E委員 書架で探すよりインターネット検索や予約する方が早いので、図書館にいる時間は長くない。
- ・D委員 そういう利用者が増えてきている。
- ・C委員 予約をしないで目的の書架に行くとその前後に魅力的な本があるとたまに借りていく

ことはあると思う。書架を活用することを利用者向けに案内しても良いのではないか。

・A委員 図書館まで来るけど予約した本だけ借りて帰ることが多いので、本をもう2、3冊借りていくような雰囲気づくりをしていけば良いのではないか。

・I委員 書架を本屋さんの並べ方にすれば、ついでに借りていく可能性もあるが、インターネット検索して配達サービスが導入されれば図書館には全く来なくなると思う。

・大地館長 予約資料を借りるのが主な利用者にとって書架は図書館利用に関係なく、図書館に滞在している利用者にとっては利用できるというように利用方法が二分化している。前者はコンテンツとしての利用、後者は場としての利用といった側面を持つ。両方にとって最善の形を実現するのは難しい。

・D委員 利用形態の変化を踏まえたうえで考えていく必要がある。

4 視察について

令和5年2月を予定。複合施設内の図書館、駅前にある中規模図書館、大規模改修を行った図書館を候補として選定する。

5 その他

「月曜祝日開館施行アンケート」結果、「開館時間延長試行結果」について大地館長から説明

次回は令和4年11月17日（木）午後2時から三鷹図書館第一集会室で開催